|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **ユースケース記述** | **システム名** | **グループ名** | **承認印** | **作成日** | **担当** | |
| **図書管理システム** | **Liblian** |  | 2022/05/18 | 青山 | |
| Ver.1.0 |
| ユースケースID | LM403 | | | | |  |
| ユースケース名 | 資料返却 | | | | |  |
| 概要 | 貸出台帳から貸し出した資料を見つけだし、返却日を記入し貸出可能状態にする | | | | |  |
| アクター | 司書・受付係 | | | | |  |
| 事前条件 | 貸出資料詳細ページを表示できる | | | | |  |
| 事後条件 | 貸出し状態の書籍を貸し出し可能にする | | | | |  |
| **基本系列**   1. アクターが貸出管理メニューから「返却」を選択すると、このユースケースが開始される 2. システムは入力画面を表示する 3. アクターは返却する資料の会員ID、資料IDを入力し確認ボタン、またはキャンセルボタンを押す 4. システムはボタンの種類に応じて以下の処理を行う 5. 確認画面ボタンが押された場合、確認画面を表示する 6. キャンセルボタンが押された場合、入力フォームへリダイレクトする 7. アクターは登録ボタンまたは編集ボタンを押す 8. システムはボタンの種類に応じて以下の処理を行う 9. 登録ボタンが押された場合、指定された貸出資料に「返却日」を追加し、完了ポップアップを表示する 10. 編集ボタンが押された場合、入力フォームへ戻る 11. システムは、もし予約台帳に返却処理を行った資料と同一の資料情報があれば、予約台帳の資料情報に「確保済み資料」として今回返却処理を行った資料の資料IDを登録する   **代替系列**  なし  **例外系列**  E-1：　アクターが次の入力チェック条件を満たさずに「確認画面へ」ボタンを押した   * + 「会員ID」は必須、英数字5文字以下   + 「資料ID」は必須、英数字10文字以下  1. システムは、入力が正しくない旨を伝えるメッセージとともに、返却入力画面を再表示する   **備考**  なし | | | | | |  |